

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	初発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対しドキシソルビン含有レジメン施行後に生じた心血管障害に関する後方視解析	
1. 研究の目的と方法	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫は、本邦の悪性リンパ腫の中で最も発症頻度の高いタイプになります。 標準治療として、抗体薬併用化学療法、具体的にはR-CHOP療法（リツキシマブ、シクロフォスファミド、ドキシソルビン、ビンクリスチン、プレドニゾロン）やPola-R-CHP療法（ポラツズマブ・ベドチン、リツキシマブ、シクロフォスファミド、ドキシソルビン、プレドニゾロン）が推奨されており、どちらの治療法にもアントラサイクリン系抗がん剤であるドキシソルビンという薬剤が含まれています。 アントラサイクリン系抗がん剤の重要な副作用として、様々な心血管障害（具体的には心臓の収縮不全や心不全、不整脈、冠動脈疾患）を呈することが報告されております。そのため、ドキシソルビンを用いた治療を受けられた初発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者さんにおけるドキシソルビンにより生じた心血管障害の発症頻度や臨床的特徴を明らかにすることは重要であると考えます。 以上より、本学臨床データを用いて、初発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者さんに対し、ドキシソルビンを含む抗がん剤治療後に生じた心血管障害の発症率や発症時期の傾向ならびに心血管障害発症リスク因子と予後を明らかにする目的で、既存のカルテデータを解析いたします。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	慈恵医大附属第三病院において2014年1月1日から2024年12月31日までに初発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断し、ドキシソルビンを用いた治療を受けられた患者さんが対象になります	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体情報（身長や体重、体表面積、BMI）、病期、検査結果（血液検査、骨髄検査、診断の用いた検体の病理結果、画像検査、心電図検査、心エコー図検査）、疾患情報、転機、治療方法、治療効果、心血管障害発症有無
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学附属第三病院 内科学講座 腫瘍・血液内科
		氏名 郡司 匡弘
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の 試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ

	管理責任者	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 4 月頃から	
【問い合わせ先】	東京慈恵会医科大学附属第三病院 内科学講座 腫瘍・血液内科 研究責任者：郡司 匡弘（ぐんじ ただひろ） 電話番号：03-3480-1111(代表)（内線 2151） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。